

職を求めて

創
作

(上) 空は鉛を潰した重くらしい疊雲
低く灰色の雷街に垂れ鬱陶しくも蒸
し暑い日が幾日も續く。お晝過ぎの
お茶刻頃には極つて雲行きは怪しく
恰も珈琲でも流したやう黒風一陣、
忽ち閃々たる電光は轟々の雷鳴を載
せ、驟雨沛然として家も流れよと土
砂降りする。だが一雨ごと白露にき
らめく街並木は無遠慮に心地佳くし
いゝ生ひ繁つて新緑の香を深くし
て今日も又雲よりした厭な日だ、途
中で雨降らねば可いが彼は空模様を
氣遣ひながら寂しい町端の寄寓を出た。
マツチの箱を並べた長屋
物置勝負で面塞れしたる女房
暮で馬糞の皮を剥いて居る貧乏世帯が往來透見ゆる場末の街
を、二頭立の荷馬車がリンリン鈴を
鳴らして駆けつけ來たが近頃の豪
雨で目茶にされて泥濘路の凹凸に深
く滑り込で立往生の體。洒太りした
る亦ら顔の駄者は其馬よりも肥満の
腹を躍らせ、聲を限りに曳曳と
苦々しさに怒鳴り散らし痛い鞭
を連げさまに曳れて居るが脊骨の高
い瘦馬は一向に駆む氣色とて無い、
唯大きな目玉をキヨロつかしつ長い
首を左右に振つて居る。周圍にはこ
の界隈に住む其日稼ぎの勞働者達の
暮乗れ小僧、されどこれも言ひ合は
したやうに身窄らしい洗足姿、椀白
盛りにしては割合活氣の乏しい營養
不良い顔を並べて喚いて居る。その
間を活潑くろい骨ばかりの野良犬
がまた晝飯のパン屑一片にも有り附
けない悲惨な鼻を鳴らして徘徊して
居る。彼れば電車道の終點に出た、單線
の電車は悠々緩々中々やつて來そう
にもない。まゝよ、電車貸だけ儲けて
やうに歩を進めた。蓋し這の電車貸に相
當する白銅一個こそ、失職三ヶ月、
何處も同じ都會の就職難、爲すこと

もなく空しう不愉快な日を送つた飄
零落魄の彼が身には憐れにも生命の
脚を前へへと動かして居る。生
きて居たい、どんなに苦しんでも生き
て居たいと言ふは恐ろしい力だ、同
時に然ばく如何に生きて行く?と謂
ふ事はヨリ難しい問題である。と生
きの不安と脅威は生れて三十有餘年
活の如く深く強く彼が胸を裂ふ

町暉深切を旨こし總て
お客様本位に大勉強仕
ります

末廣

◆至急土地特價賣却
一場所
ノロエステ線ベンナ驛平野殖民地内
一價格
貳リットル、六十七アルケールス
付は地權確實にして當市又は書面にて照會せられたし、併し支拂方法は
一時拂ひにして登記はカタンツーバに於てなす
アラ、クアラ線カタソバ市
力タンゾバ電燈電力會社(郵函八八八壹號)

技術小林弘一郎
Engenheiro Salviano Kobayashi
Caixa Postal, 881 CATANDUVA

Y. KINJO
CIRURGIAO-DENTISTA

Rua Alfonso Penna, 37
Tel. Cidade 6267
S. PAULO

歯科醫
金城山戸

聖市アホンソベンナ街三七番
電話シダーデ六二六七番

▼最新式米國型洋服▼町暉迅速廉價調製▲
聖市コンデ・デ・サルゼーダス街壹壹九番
電話セントラール三四三四番

ECREJA EPISCOPAL JAPONEZA

Rua Marquez de Itú, No. 14-D S. Paulo

毎日曜日
午前九時半禮拜説教

聖公會日本人基督教會

午後二時日暉學校

今更の如く深く強く彼が胸を裂ふ

た。

聖市コンデ・デ・サルゼーダス街吾

電話セントラール四五五九

中井鐵工場

カタソバ線

郵函一四八六番

Catanduva

L. Araraquara

印播種器

○○○菱

鑄造物各種

アラ、クアラ線

カタンゾバ

郵函一四八六番

Catanduva

印播種器

○○○菱

鑄造

日射病患者を

脳脊髓膜炎と疑ひ

移民上陸をまごつかす

事情判明して無事上陸

既報の如く七百四十餘人の移民を乗せた大阪商船のマニラ丸は、豫定の如く十五日前前サンントスへ入港した所が、リオで移民中の年若い一人の美人が、リオで死亡したのを、日本に於ける先年の嗜眠性脳炎や、此頃の英國のグリツベ流行に神經過敏になつてゐるリオの聯邦衛生局検疫部當事者は、メニンジ子雲々の病名に早合點をしあり、とにかくサンントスへの航行途中佛式を以て水葬を許可したが、其旨サンントスの検疫部へ宛電報して、

當事者アンソーチス社、船長、事務長等非常に面喰ひ、總領事館出張千三百餘人の移民も、相變らずロイド眼鏡や、指輪を光らしたり絹張洋

結核性

日本に於ける先年の嗜眠性脳炎や、此頃の英國のグリツベ流行に神經過敏になつてゐるリオの聯邦衛生局検

疫部當事者は、メニンジ子雲々の病名に早合點をしあり、とにかくサン

ントスへの航行途中佛式を以て水葬を許可したが、其旨サンントスの検疫部へ宛電報して、

當事者アンソーチス社、船長、事務長等非常に面喰ひ、總領事館出張千三百餘人の移民も、相變らずロイド眼鏡や、指輪を光らしたり絹張洋

トスへの航行途中佛式を以て水葬を許可したが、其旨サンントスの検疫部へ宛電報して、

領事館でも十七日夜は夜半まで前後策を講究してゐた

新婚旅行に渡伯

琵琶や踊りの師匠

國家の代表た

男女や

が多くの中には日本政府

官費洋行留学生でもするいゝ氣なものも

あり我々は國家の代表だ、などメ

リオ帝國大使館附陸軍武官は十三日

一ドルをあげてゐるものもあつた、又

から渡航費を支給されて來たので、

渡航費が貰へるからブラジルへ新婚

旅行をしに來たなど、云ふものもある

旅費洋行留学生をもするいゝ氣なものも

は服從出來ない、一度着けた船は今

更ぞうして隔離の爲廻航させられや

う其損害だけでも四十五コントスだ

力み、鶴橋船長等もそんな不法な

事に唯々として承諾してゐては國威

隔離を命ぜられ相な形勢も見へ、ア

ンツー・ス社、文配人等大に

は、ソロカバナ方面

にグリツベが流行してゐる故英國か

ヘ配耕されるものが多い

ら入港船舶の検疫を嚴重にすべき旨

を訓令した

花車も出ぬと云ふ

解決するまで當市の收容所内

健康診断を行ひに来るなど事

態益々穩かならず、マニラ丸の病人

のおかげで移民はこんでもない迷惑

怪しきにらんで脳脊髓膜炎の

あるものとして上陸に際し避病

院に入院してしまつた、此爲當市

の州衛生局で、大にあはてて副長自身

五人の醫官を引率して收容所に赴き

厳重に健診を施し、或は同病や

チブスの豫防注射を行ふやら、便の

検査を行ふと云ふ真剣になつての

河内丸には筑前琵琶や踊りを講じて好印象を受けた

して保存する事になつた。

又同日別報を以て、近く政府から提

出する旨を傳へられる治安維持法月の十日頃エノスから寄港の豫定

策を講究してゐた

新婚旅行に渡伯

琵琶や踊りの師匠

國家の代表た

男女や

が多くの中には日本政府

官費洋行留学生でもするいゝ氣なものも

は、ソロカバナ方面

にグリツベが流行してゐる故英國か

ヘ配耕されるものが多い

ら入港船舶の検疫を嚴重にすべき旨

を訓令した

花車も出ぬと云ふ

解決するまで當市の收容所内

健康診断を行ひに来るなど事

態益々穩かならず、マニラ丸の病人

のおかげで移民はこんでもない迷惑

怪しきにらんで脳脊髓膜炎の

あるものとして上陸に際し避病

院に入院してしまつた、此爲當市

の州衛生局で、大にあはてて副長自身

五人の醫官を引率して收容所に赴き

厳重に健診を施し、或は同病や

チブスの豫防注射を行ふやら、便の

検査を行ふと云ふ真剣になつての

河内丸では着いた移民に、惡性傳染病患者があり衛生狀態不良の爲上

間も先へ出帆し、途中積荷や其他

の關係から連れてしまひ六十日を要

ばづゑで耕地へ出發されず矢餌に

注射されたり健康診断されたりした

河内丸で着いた移民は五百六十餘人の

移民を乗せて入港し、此方では途中幼

児が肺炎で死亡した外二三の出産もあり、骨膜炎と胃癌の二人の病人があるだけ

當地官憲から電報で届いた爲、海興事者一同は心配して大奔走をし、總

河内丸船長來聖

に於て葬儀で本願寺に關係あり同寺から

靈地に於ける佛教布教能否視察の爲

派遣され「初めは小さくだんくに

活動するつもりだ」と云つてゐるが新聞

まだ當國は袈裟づけて歩くには時期

でないやうだ

上原直松氏死去

田良一氏の令弟義重氏は仁術な

利に活用して仲々盛であつたと

<p

